

## アカデミーヒルズ 2008年1月 活動レポート

アカデミーヒルズでは、講座やセミナー、人的交流を目的としたイベントを多数開催しております。  
1月のアカデミーヒルズ各種イベントから、お客様より好評を頂いたものをご紹介します。

2008年1月9日(水)

アカデミーヒルズ  
「ライフスタイルサロン」特別講演

### 遊びをせんとや生まれけむ 『ぼくの複線人生』

ゲスト

福原 義春

[株式会社資生堂 名誉会長 / 『ぼくの複線人生』著者]

モデレーター

竹中 平蔵

[アカデミーヒルズ理事長 / 慶應義塾大学教授]

『ぼくの複線人生』(岩波書店 2007年03月発行)の著者、福原義春氏(株式会社資生堂 名誉会長)を招き、「遊びをせんとや生まれけむ」をテーマに講演。仕事も趣味も無我夢中で打ち込んできた福原氏の「複線人生」を振り返りながら日本人の新しいライフスタイルを参加者と共に探りました。

#### 「複線人生」は1点集中より多面的で強い

「複線人生」とは福原氏のご自身の生き方を表現する言葉で、「経営者」でありながら「園芸家」「写真家」のように、複数の領域に打ち込む生き方のこと。一見ひとつのことに集中した方がよりその分野で高みに到達することができるように感じますが、福原氏のご自身のほかにも「複線人生」を送られた先人を例に挙げながら、次のように語ります。「複線人生というのをしておりますと、価値観を線から面に広げることができる。単線ではなくて、面でもっていろいろなことを考えることができます。(中略) もう一つは、ほかの領域のことをすることにより、アナロジー、ほかの領域ではこういうことがあるというようなことが簡単にわかってくる。その方が判断力が強いんじゃないかと、自分では言っているわけです。」

そんな「複線人生」の為に福原氏は「プロダクティブ、あるいはクリエイティブなことにエネルギーを注ぐ」ことを薦められます。「せっかくの余った時間をゲームだとかパチンコだとか、そういう時間消費的なものに使うのでは全く意味がない。雑誌を読むことでもいいし、本を読むことでもいいし、それから何か1つの研究に充てると、びっくりするような世界があるのです。」

#### 「ワークライフバランス」とは「会社」と「自分のために何かすること」のバランス

福原氏は世間で取り上げられる「ワークライフバランス」と言う言葉について、誤解があるといいます。現在の議論は、例えば子育てと仕事を両立するため、会社の拘束時間を減らすことが「ワークライフバランス」だと思われているふしがあることに言及。「本来はそうではなく、会社において会社の仕事をするのと、一方で自分のためになる何かをやること、それをバランスさせることではないかと思うのです。」

サロンの締めくくりとして、竹中理事長より「本日の福原氏のメッセージは、21世紀を生きる我々へ大きな問題提起をされました。これをどう受けるかの応えは、私たち1人ひとりが、しっかりと頑張って生きて、その中で出しているようではありませんか。」と、参加者へ呼びかけました。

#### ライフスタイルサロンとは

##### 「書籍」をテーマに「ライフスタイル」を考える六本木ライブラリーのメンバーサロン

「ライフスタイルサロン」は、アカデミーヒルズ理事長竹中平蔵の発案による講座で、アカデミーヒルズ六本木ライブラリーメンバーを対象に開催中のイベント。ライフスタイルを考えるきっかけとなる書籍を1冊選定し、その著者をゲストに招いて、講演を聴き、ディスカッションすることで、人生をより豊かにするために必要な教養とは何かを探求します。



# アカデミーヒルズ 2008年2月のイベントスケジュール

📌 のついた講座は、マスコミの皆様がご取材、ご参加いただけるイベントです。ご希望の際は下記担当までお申し込み下さい。

**スクール・フォーラム** ビジネスパーソンを対象にした公開イベントです。(有料プログラム)

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
2月2日[土] 10:00~	速習・入門ファイナンス講座 ファイナンスの体系とNPVの基礎知識~	上東 志麻 [(株)イーストゲート 取締役]
2日[土] 10:00~	速習・議事録の書き方入門 :会議をリードするドキュメント作成方法を身につける	石原 徹哉 [株式会社チェンジ 取締役]
2日[土] 10:00~	1日で学ぶ決算書の読み方・演習講座 ~個々の企業活動が財務3表にどう反映されるかを理解する~	國貞 克則 [ボナ・ヴィータコーポレーション代表取締役]
4日[月] 19:00~	アートは心のためにある:UBSアートコレクションより シンポジウム 「企業ブランディングにアートを活かす」	福武 総一郎 [株式会社ベネッセコーポレーション代表取締役会長 兼 CEO] ジャン=クリストフ・アマン [UBSアートコレクション・アドヴァイザリーボード] ペトラ・アレンズ [UBSアートコレクション・コレクションエグゼクティブ] 南條 史生 [森美術館館長]
5日[火] 19:00~	📌 フジマキ流「自分ブランド」のつくり方 持ち味を活かし、周囲を巻き込み、自分の名前で生きていく	藤巻 幸夫 [前(株)セブン&アイ生活デザイン研究所代表取締役社、 前(株)イトーヨーカ堂取締役、福助(株)ターンアラウンドアドバイザー] 藤巻 健史 [(株)フジマキジャパン代表取締役]
6日[水] 14日[木] 19:00~	定量分析入門講座 ~合理的な意思決定をするためのはじめの一歩~	福澤 英弘 [株式会社アダット代表取締役社長]
7日[木] 15:00~	デザインビジネス最前線講座 携帯コミュニティサイト「謎のローソン部」発の新商品デザイン	高橋 千宏 [株式会社アイ・コンビニエンス サイトグループ マネージャー] 西川 英彦 [立命館大学 経営学部環境・デザイン・インスティテュート准教授]
7日[木] 19:00~	📌 「モバゲータウン」の強さとは DeNA畑村氏、「モバイル・エンターテインメント・ビジネス」を語る	畑村 匡章 [株式会社ディー・エヌ・エー ポータル・コマース事業部 モバイルポータル部 部長] 西川 英彦 [立命館大学 経営学部環境・デザイン・インスティテュート准教授]
8日[金] 19:00~	スパイラルマーケティングセミナー ~あなたの仕事に直接役立つ「マーケティングの実践教科書」~	池上 重輔 [早稲田大学大学院商学部研究科客員准教授]
9日[土] 13:00~	ブランドマネジメント戦略入門: 顧客との接点を活用するブランド戦略	加治 慶光 [日産自動車株式会社マーケティング本部 マーケティング・ダイレクター]
16日[土] 10:00~	1日で学ぶPR入門・演習講座 ~PR活動の基礎知識とスキルを身につける~	山見 博康 [山見インテグレーター(株)代表取締役、パリュール・インテグレーター]
23日[土] 13:00~	Think提携講座 脱ヒューリスティクス常識の罠に陥らない 地頭思考カトレーニング講座	樋口 陽介 [アクセンチュア経営コンサルティング本部戦略グループマネージャー]
25日[月] 18:45~	【アーク都市塾】イノベーション・エッジコース① 危機を克服して進化する吉野家流経営 「吉野家ウェイ」に見る現場を活かす価値追求マネジメント	安部 修仁 [株式会社吉野家ホールディングス代表取締役社長] 米倉 誠一郎 [アーク都市塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター教授]
16日[土] 23日[土] 13:00~	組織力を高める集中ビジネスコーチング2Days ~ビジネスリーダー・管理職のための「組織を動かすコーチング」	細川 馨 [ビジネスコーチ(株)代表取締役]
3月1日[土] 2日[日]	アカデミーヒルズ スペシャル・プログラム in 直島 『共生のマネジメント:21世紀型社会の潮流を探る』 *このプログラムは香川県香川郡直島町での開催です。	安藤 忠雄 [建築家] 福武 総一郎 [(株)ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO] 米倉 誠一郎 [アーク都市塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター教授]

**ライブラリー** 六本木ライブラリー会員対象のコミュニティ イベントです。

\*開催時間は全講座 19:15~20:45

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
2月1日[金]	日本の新・文化創造力~ブランドコミュニケーションを再発見する 「販売の現場力」強化プロジェクト(インテックスコミュニケーション2007/9出版)	薄羽 美江 [(株)エムシーブランニング/オフィスメンバー]
5日[火]	私は、元祖「働きマン」 ~自分をプロデュースする力が成功の鍵~	飯野 晴子 [元電通アイPR 営業部長/現在フリープロデューサー]
8日[金]	あなたの「栄養バランスシート」は大丈夫ですか? ~毎日の食生活があなたをつくっています~	中元寺 裕子 [大塚製菓株式会社 ニュートラシューティカals事業部 学術担当]
13日[水]	小説『ファンクションA』と東アジア衝撃の近未来(講談社BIZ)	相場 英雄 [著者/第2回経済小説ダイヤモンド大賞受賞作家/ジャーナリスト]
21日[木]	📌 ベンチャーと一流 ~キャリアとは何か~(仮)	本城 慎之介 [(株)音別代表取締役/仕事の学校 実行委員長/オフィスメンバー]
28日[木]	裸でも生きる~25歳女性企業家の号泣戦記~(仮) 「裸で生きる~私がアジア最貧国で起業した理由」(講談社BIZ)	山口 絵理子 [(株)マザーハウス代表]

\*詳細についてはお問い合わせください。 Tel: 03-6406-6649 (担当: 深町)

# 六本木ヒルズのインテリジェンスセンター アカデミーヒルズ

六本木ヒルズの文化施設の中で「ART」を提供する森美術館に対し、アカデミーヒルズは「Intelligent」をになう施設です。アカデミーヒルズには「スクール」「ライブラリー」「フォーラム」の3つのサービスがあります。



## アカデミーヒルズの3つのサービス

### School

ビジネスパーソンを対象に「**アーク都市塾**」「**Roppongi BIZ**」を開校。メディアで注目される「人」や「トピックス」を取り上げたプログラムが特徴です。また、カルチャーとライフスタイルをテーマとする週末開講のワンデースクール「**アーテリジェントスクール**」も開催しています。

### Library

「**アカデミーヒルズ六本木ライブラリー**」は会員制のライブラリーです。メンバーは早朝7時から深夜24時まで使用可能な専用スペースや地上49階からの眺望が魅力のカフェが利用できます。また、会員同士のコミュニケーションを促す、トークイベントやコミュニティ活動等を積極的に展開。会員は30代～40代を中心に2600名。07年実施のアンケートでは「会社以外での人脈作り」を重視し、「独立志向が高い」等の会員の特徴が浮かび上がりました。

### Forum

大規模な国際シンポジウムや学会等が開催される**アカデミーヒルズ六本木フォーラム**。建築家 隈研吾氏がデザインした多彩なフロアには、500名規模の大ホールから、数十名規模のスペースまでを多数揃え、企業PRイベントやプレス発表、採用セミナーや研修などにご利用いただいています。



## メッセージ



理事長 竹中 平蔵

都市の魅力、そして期待される機能とは、一体何なのでしょう。私は、リソース(人材、技術、資本)相互の「新しい結合」を生み出すこと、そこから新しい「ライフスタイルを提案」することであると考えます。

都市には、様々な分野の専門家、多様な技術に特化した企業が集積しています。これらのリソースの結合・組み合わせによって新しいビジネス機会が生まれます。このような都市が持つ集積とその出会いこそが、都市というものが生み出す力なのです。私は、そうした最先端の都市機能を担う六本木ヒルズの「知の拠点」として、アカデミーヒルズがあると認識しています。アカデミーヒルズ自体が、新しい時代の都市文化の創造を担っているのです。知の結合の拠点として、新しい知的ライフスタイルの発信地としての機能をしっかり果たせるよう、理事長としての役割を果たしたいと思っています。

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ事業部 マーケティングコミュニケーション 深町 友子

TEL: **03-6406-6649** FAX: **03-6406-9350**

MAIL: [academyhills-PR@mori.co.jp](mailto:academyhills-PR@mori.co.jp) URL: [www.academyhills.com](http://www.academyhills.com)